

令和四年度個別学力検査問題(国際資源学部、教育文化学部)

国語

前期日程

注意事項

- 一 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二 この問題冊子は、一〇ページあります。解答用紙は一枚です。問題は二題あります。すべてに解答しなさい。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 三 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号と氏名を記入しなさい。
- 四 解答は、解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 五 配付された解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 六 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

— 次（この）の文章は、柴田邦臣（しほたくにおみ）の『社会学』（二〇一九年刊）の第1章の一部分である（一部改変）。文章中でいう「この本」「本書」とはこの著作を指す。これを読んで、後の問に答えなさい。

本文省略

(出典)2017年度「情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」

本文省略

本文省略

本文省略

本文省略

本文省略

本文省略

問一 グラフ1についての説明として誤っているものはどれか。次のア～オから一つ選び記号で答えなさい。

ア 年代が上がるにつれてスマホの利用時間が短い。

イ 各年代のうち三番目にスマホ利用時間が多いのは三〇代である。

ウ 四〇代のスマホ利用時間は約一時間四〇分である。

エ 二〇代と四〇代とは、スマホの利用時間が三倍以上違う。

オ 一〇代と二〇代、二〇代と三〇代でスマホ利用時間が約一時間半は違っている。

問二 傍線部①「先ほどの若者たち」とは、どのような若者たちのことか。本文に即して説明しなさい。

問三 傍線部②「ワーマンの言う「情報不安症」が、三〇年経ってさらに進んだ、「情報強迫性障害」とでも呼ぶような存在になっってしまった」とあるが、それはどういうことか。本文に即して説明しなさい。

問四 傍線部③「この問題」の中に出てくる「梅子」が結婚しているかどうかについて、あてはまるものを次のア～ウから一つ選び記号で答えなさい。

ア 結婚している

イ 結婚していない

ウ どちらでもありうる

問五 傍線部④「この構造」とは、どのようなことか。6ページのA(B)の中の語句を用いて説明しなさい。

問六 傍線部⑤「情報弱者」であることから必死に逃走し「情報強者」をめざす人生は、逆説的に「情報弱」と呼ばれてもしかたがなさそうだ。」とあるが、ここでいう「情報弱」とはどのような者のことか。本文に即して説明しなさい。

問七 二重傍線部「Google か Wikipedia で検索する」とあるが、グラフの10代の内訳をみると「ブログやウェブサイトを見る・書く」ことよりも、他のことに長時間利用していることがわかる。情報を検索すること以外の例をあげて、現代の情報との接し方について、あなたの考えを200字以内で述べなさい。

二 次の①～⑤の傍線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① コクメイ に記録する。
- ② 行動を ヨクセイ する。
- ③ お金を クメン する。
- ④ オンコウ な人柄。
- ⑤ 謹んで ウケタマワ る。